

# 財 団 季 報

通則一とびつ商経研立国  
編委日刊興進究研病器循

夫 野 本 眞





## 国立循環器病センターの総長が交代されました — 新総長のご挨拶 —

国立循環器病センター総長  
循環器病研究振興財団理事

橋 本 信 夫



本年4月1日に京都大学脳神経外科学教授から国立循環器病センター総長に就任いたしました橋本信夫でございます。

私は昭和48年京都大学を卒業後、同大学脳神経外科を経て、平成5年から9年まで約5年弱を当センター脳神経外科部長として過ごしました。日本中から集まった若い医師達と日夜脳卒中医療に情熱を傾けました。そして彼らの多くが今日本各地で脳卒中医療の指導者として活躍していることを大変嬉しく思っています。他方、センター在任中に脳卒中の救急医療の難しさを肌で知ることにもなりました。

その後京都大学脳神経外科教授として勤務のち、教授任期を3年残して本年4月1日より再びこの吹田の地に戻ってまいりました。近年生活習慣の変化と高齢化を背景に心臓病、脳血管障害、高血圧に代表される循環器病の有病率が高まり、この領域の予防と医療の重要性はますます大きくなってきます。健康寿命という考え方からも、循環器疾患の予防と治療は健康な状態で長生きをするための最も基本的かつ重要な点であると思っております。

さて、国立循環器病センターは、循環器病に関する先端的な治療と研究を推進すべく昭和52年に設置され、昨年、設立30年目を迎えました。この間多くの治療法が開発され、基礎的な研究も大きな進歩を遂げていますが、なお循環器病は国民死亡原因の上位を占めており、その克服に一層の努力が必要とされています。

本年4月から、「高齢者の医療の確保に関する法律」により、内臓脂肪型肥満に着目した「特定健康診査（メタボ健診）」が実施されました。高齢化の急速な進展に伴い、疾病構造も変化し、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占めている状況であります。特に、血液の循環の不調が原因である循環器病は、脳卒中、

心臓病、高血圧、糖尿病等の広い範囲で、血管、血液、神経などの多くの要素が複雑にからみあって徐々に進行していく病気であり、高齢化社会でもっとも罹患率の高い疾患群で、食事・生活様式、煙草なども関係する生活習慣病とされています。

このように複雑な循環器病を克服するために、皆様方に循環器病に関する正しい情報をお知らせし、循環器病予防のための生活習慣の改善に役立てていただくことも国立循環器病センターの使命と考えています。

このためには、当センターのみならず、「脳卒中、心臓病、高血圧症等の循環器病に関する研究を助長奨励するとともに、これら疾患の最新の診断治療技術の開発、普及を促進し、さらに医療関係者、研究者の育成と研修を行い、もって国民の健康と福祉の増進に寄与すること」を目的としている財団法人循環器病研究振興財団、及び関係各位のご支援ご協力を賜りつつ、今まで築き上げられた先輩諸氏の実績をベースにして、より健康的な高齢化社会を迎えるためにも、更なる循環器病疾患対策、生活習慣病対策に取り組んで参りたく思っております。

なお、国立循環器病センターは平成22年4月から独立行政法人に移行することになっていますが、研究開発型の病院を目指し、より高度で良質な医療を展開していく所存であります。また、建物におきましても設立当初のものが殆どであり、今後のより高度な医療の提供や研究体制の充実には、建て替えが必要となっております。このように、疾病構造の変化・組織の改編・ハードの充実等々、発展的諸問題に取り組まなければならない状況であります。

関係各位のご支援・ご協力を賜りながら鋭意取り組んでまいります。よろしく願い申し上げます。

表紙絵：ウィルヘルム・ボイエルマン作「血管の流れ」。

作者は1937年ベルリン生れ、心臓に関する詳細な図録をみて触発され、独自の芸術的イメージを展開した作品。



## 平成20年度事業の概要

第46回理事会および第27回評議員会で決定された平成20年度事業の概要は次のとおり。

### I. 研究助成事業 (90,890万円)

#### 1. 公募研究助成

##### (1) 公募研究助成

全国公募による臨床、疫学、基礎医学の中から10課題に対して研究助成を行う。

##### (2) バイエル循環器病研究助成

学識経験者により研究テーマを「大動脈・下肢血管障害の治療」と指定し、全国公募により3題に対して研究助成を行う。

##### (3) 循環器病疾患看護研究助成

公募により循環器病の看護に関する10課題に対して研究助成を行う。

#### 2. 指定研究助成

##### \* 個別研究

(1) 血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究

(2) 循環器疾患におけるIGF-1と幹細胞移植の複合治療法の開発と臨床応用

(3) メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究

(4) 循環器疾患に合併する呼吸器疾患の基礎的・臨床的病態解明

(5) 脳動脈瘤塞栓術における抗血小板薬の有効性に関する研究

(6) 酸化ストレス制御およびPPAR $\gamma$ 活性化による脳梗塞機能回復に関する研究

(7) 遺伝性高コレステロール血症の病態解析、病態に関わる分子の同定と治療への応用

(8) 致死性不整脈の病態とその治療法および抗不整脈の薬剤反応性に関する研究

(9) テルミサルタン (telmisartan) の脳保護効果に関する臨床研究

(10) 和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討

(11) Regulator G-protein signaling 2 (RGS2)遺伝子ノックアウトマウスにおける高血圧性臓器障害の検討—治療薬としてのアンジオテンシンII受容体拮抗薬の有効性

(12) 冠動脈疾患の診療におけるCoronary CT angiographyと負荷心筋血流SPECTの運用指針の確立に関する研究

##### \* 多施設共同研究

(13) 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)

(14) 虚血性心疾患における心電図同期SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)

(15) 心筋梗塞症急性期および慢性期の薬剤を用いた治療に関する大規模薬剤効果比較試験 (J-WIND)

(16) スタチン製剤による心血管系への多面的作用—変性による大動脈弁狭窄進展と慢性心房細動における脳卒中に対するスタチン製

剤の効果 (STACIN)

〔会 場〕幕張メッセ (千葉市)

- (17) 急性期脳梗塞患者における抗血栓薬および  
脳保護薬の併用療法に関する研究  
(East-Study)

2. 第32回日本高血圧学会総会

〔会 期〕平成21年10月1日～3日

〔会 場〕大津プリンスホテル (大津市)

- (18) 孤立性収縮期高血圧におけるバルサルタン  
による心血管事故発生頻度に対する検討  
(VALISH研究)

### Ⅲ. 研究・研修者助成事業 (500万円)

1. 国内外研修派遣助成

国内外において実施される研修に派遣される  
医療技術者に対する助成

2. 国際協同研究等派遣助成

海外で開催される学会・協同研究等に派遣さ  
れる研究者に対する助成

- (19) 糖尿病動脈硬化症の発症予防と進展阻止に  
関する抗血小板薬治療効果の研究  
(DAPC Study)

- (20) 軽症糖尿病に対する薬物介入による冠動脈  
病変の進展予防効果に関する臨床研究  
(DIANA研究)

### Ⅳ. 普及支援事業 (2,700万円)

1. 研究発表会および研究業績集の刊行

2. 学術活動支援

セミナー等の開催に対する支援

3. 移植医療支援事業

循環器病疾患に関する移植医療の円滑な実施  
のための支援

4. 予防啓発活動

・季報発行

・パンフレット

《知っておきたい循環器病あれこれ》発行

・ホームページ (メンテナンス)

- (21) 家庭血圧に基づいた高血圧の至適治療に関  
する大規模臨床試験 (HOSP研究)

- (22) 弁置換術後の脳梗塞発症及び脳高次機能異  
常予防のための標準的抗凝固療法確立に関  
する研究 (JaSWAT-1)

- (23) 本邦における低用量アスピリンによる上部  
消化管合併症に関する調査研究  
(MAGIC研究)

—心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞  
栓性疾患を対象として—

- (24) 脳梗塞ハイリスク例における経口糖尿病薬  
の脳心血管イベント一次予防効果の検討  
(PROFIT-J)

- (25) 経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱およ  
び動脈硬化抑制研究 (PREVENT-J)

### Ⅴ. 国庫補助金事業 (4,263万円)

厚生労働科学研究推進事業

### Ⅱ. 学会助成事業 (1,663万円)

1. 第50回日本老年医学会学術集会

〔会 期〕平成20年6月19日～21日



## 平成20年度研究助成対象者決まる

## 1. 公募自由課題研究助成

循環器病に関する臨床、疫学、基礎の分野に対する自由課題の研究助成で、今年度は全国から49件の応募があり、6月4日の選考委員会において次の10名が選考された。

## 臨床4課題

(1課題100万円)

研究者	所属機関・職名	研究課題
飯原 弘二	国立循環器病センター 脳血管外科 医長	多角的プラーク評価に基づく、内頸動脈狭窄症に対する急性期血行再建術の適応の確立
岩田 裕子	国立循環器病センター研究所 循環分子生理学 室長	新規作用機構に基づく薬剤を用いた心筋症、心不全治療法の開発
杉山 央	国立循環器病センター 小児循環器診療部 医長	大動脈縮窄モデルにおけるautologous tissue-covered stent (biocovered stent)の効果に関する研究
中村 一文	岡山大学大学院医歯薬学総合研究 科・循環器内科 助教	抗KCNH2(HERG)抗体による自己免疫性QT延長症候群の病態の解明 ：後天性QT延長症候群の新しい発症機序の検討

## 疫学2課題

(1課題100万円)

研究者	所属機関・職名	研究課題
大塚 俊昭	日本医科大学 衛生学公衆衛生学 助教	健診男性集団における潜在性心機能障害・微小心筋障害の頻度およびこれらに影響を与える因子の検討
小久保喜弘	国立循環器病センター 予防検診部 医長	肥満指数と糖尿病罹病とに関する縦断研究

## 基礎4課題

(1課題100万円)

研究者	所属機関・職名	研究課題
栗原 裕基	東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学 教授	刺激伝導系の形成に関与する新しい細胞系譜の同定と分化特性の解析
新藤 隆行	信州大学大学院医学系研究科 臓器発生制御医学 教授	メタボリックシンドロームおよび血管合併症治療に向けたRAMPシステムの病態生理学的意義の解明
曾根 正勝	京都大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 助教	ヒトiPS細胞とES細胞を用いたヒト血管分化・再生・老化機構の解明と応用
西谷 友重	国立循環器病センター研究所 循環分子生理学 室長	新たな心機能調節因子としてのCa <sup>2+</sup> センサータンパク質NCS-1の生理的・病態的役割の解明

## 2. バイエル循環器病研究助成

バイエル薬品株式会社から寄贈された基金による指定分野の研究助成であり、今年度は第16回「大動脈・下肢血管障害の治療」のテーマで全国公募により募集したところ29課題の応募があり、4月30日開催の選考委員会による厳正な審査の結果、約10倍の難関を突破して下記の3名の研究者へ助成が決定された。

(1 課題500万円)

研究者	所属機関・職名	研究課題
山原 研一	国立循環器病センター研究所 再生医療部 室長	iPS細胞由来血管前駆細胞を用いた新規下肢動脈閉塞性疾患治療法の開発

(2 課題250万円)

研究者	所属機関・職名	研究課題
佐々木 健一郎	久留米大学医学部 心臓・血管内科 助教	超音波刺激による血管内皮前駆細胞の血管新生能力増強効果の検討
鶴田 敏博	宮崎大学医学部 内科学 助教	腹部大動脈瘤の進展における血管外膜の炎症機転と内科的治療法の基盤確立

## 研究成果発表会（一般向け）の開催について

当財団は、厚生労働科学研究補助金による循環器疾患等生活習慣病対策総合研究の推進事業を行っています。そのうちに研究成果等普及啓発事業があり、一般市民向けのわかりやすい研究成果の発表会や研究に関連のある分野の講演会を開催しています。平成20年度の一般向け発表会は次のとおりです。

発表会テーマ	開催場所・日時（予定）	参加人員（予定）	開催責任者
代謝性疾患の現状と予防方法について	①大阪府吹田市 国立循環器病センター図書館講堂 H 20. 9. 20 (土) 13:30~16:00 ②大阪府吹田市 吹田市文化会館集会室 H 20. 12. 6 (土) 13:30~16:00	(人) 各200	国立循環器病センター 医長 小久保 喜弘
心臓発作と脳卒中を早期に見つけて早く高度な医療をうけるため “早期受診が貴方の生命を救います”	大阪府豊中市 阪急朝日ビルA&Hホール H 20. 10. 4 (土) 14:00~17:00	100	国立循環器病センター 緊急部長 野々木 宏
市民公開講座：「心臓リハビリテーションとは？：運動療法と疾患管理で心臓病の再発予防と快適な生活の実現を！」	大阪府豊中市 阪急朝日ビルA&Hホール H 20. 11. 1 (土) 14:00~17:00	150	国立循環器病センター 生理機能検査部長(心臓血管内科) 後藤 葉一
メタボリックシンドローム予防・改善のための食事バランスガイドの活用 —「バランス弁当を食べて1食の適量を知ろう！プロジェクト」の事例を中心に—	東京都千代田区 東京国際フォーラムG701会議室 H 20. 12. 20 (土) 13:30~17:00	120 150	女子栄養大学 教授 武見 ゆかり
心臓発作と脳卒中を早期に見つけて早く高度な医療を受けられるようにする。 “早く病院へ行こう！”	栃木県下都賀郡壬生町 獨協医科大学30周年記念館 関湊ホール H 21. 1. 24 (土) 13:30~16:30	150	獨協医科大学 心血管・肺内科 講師 菊地 研



知っておきたい  
最新号ご紹介  
循環器病あれこれ



	タイトル	著者	発行年月日
67	これからの循環器病センター	国立循環器病センター 総長 北村惣一郎	2008年3月1日
68	認知症を理解するために	国立循環器病センター 脳血管内科 部長 成富博章	2008年5月1日
69	弁膜症と人工弁	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻機能診断科学講座 教授 中谷 敏	2008年7月1日

## 循環器病研究振興財団へのご寄付

平成20年1月から平成20年6月までにご寄付を頂いた方々のご芳名を記し、心より厚くお礼申し上げます。(なお、敬称は省略させて頂きました。)

原田 啓二郎      寺坂 豊子      岡田 重徳  
 岡村 裕子      西部自動機器(株)      入江 弘美  
 吉田 弘      岡田 直樹

## 循環器病をめぐる統計（医療費）

医療費の全国統計としては、厚生労働省の「国民医療費の概況」がある。これは、各年度内の医療機関等における傷病の治療に要する費用を推計したものである。範囲を傷病の治療に限っているため、正常分娩、健康診断、予防接種等に要する費用は含んでいない。また、患者が負担する入院時室料差額分、歯科差額分等の費用は含んでいない。

本誌VOL.27で最新の資料として平成16年度推計を掲載したが、その後平成17年度推計が発表された。平成17年度の国民医療費は33兆1289億円で、国民所得に占める割合は9.01%である。

このうち、一般診療医療費（医科：国民医療費全体の約80%）を傷病分類にみると、「循環器系の疾患」が前年度に引続き最も多く、5兆3792億円で、第2位の新生物3兆0535億円を大きく引離している。

### 平成17年度・平成16年度の上位5傷病別一般診療医療費

	平成17年度		平成16年度	
	推計額 (億円)	構成割合 (%)	推計額 (億円)	構成割合 (%)
一般診療医療費	249,677	100.0	243,627	100.0
循環器系の疾患	53,792	21.5	54,603	22.4
新生物	30,535	12.2	27,676	11.4
呼吸器系の疾患	21,329	8.5	19,801	8.1
尿路性器系の疾患	20,293	8.1	19,956	8.2
精神及び行動の障害	18,863	7.6	19,506	8.0
その他	104,864	42.0	102,086	41.9

注：傷病分類は、「第10回修正国際疾病、傷害及び死因統計分類」による。  
 出典は、厚生省の指標「平成17年度国民医療費の概況について」による。

### 平成17年度の年齢2区分別各上位5傷病別一般診療医療費構成割合 (%)

